

新会長に大塚文郎氏

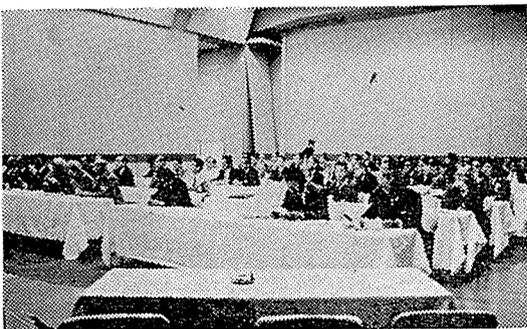
東京おのほな会

盛大に総会開く

第一回東京おのほな会は、去る九月二十三日虎の門の東京会館に於て約八十名の会員の出席のもとに盛大に開かれた。当日の次第は、第一部講演会、第二部総会、第三部学術会議員選出の件、第四部宴会として行われ、大塚文郎氏(昭和三年卒)が東京おのほな会第三代会長に推選された。

前会長加藤三郎氏御老令のため、第一部講演会として行われた。多忙のため出席者が僅かに六十名余に減ったが、母校からは、北村、白井、藤村、三輪、鈴木、各教授を始め、大塚文郎氏(昭和三年卒)が東京おのほな会第三代会長に推選された。

第一部講演会、第二部総会、見えて、一層賑かになった。



第一部講演会、第二部総会、見えて、一層賑かになった。

第一部講演会として、最近特に注目されて来た「腰痛について」を、大塚文郎氏から正式に発表があった。ここに大塚新会長の誕生を告げた。直ちに大塚会長から就任の挨拶があった。元陸軍省医事課長の大塚氏は、母校の発展に、熱心に捧身して、母校との連絡の強化等に努められた。大塚氏は、母校の発展に、熱心に捧身して、母校との連絡の強化等に努められた。

金井博士等が、新潟・金沢・千葉会と称することにした。大学の共同戦線の協力を要請した。新潟大からは大塚助教授、土屋博士等が賛意を表し協力を誓うと同時に、新潟大の伊藤学長への協力を依頼した。

協力を依頼した。

大塚新会長紹介

東京おのほな会副会長 落合和雄(昭十八年卒)



大塚新会長は、千葉出身で北大子科、医事課長大本営野戦衛生部員を歴任し、昭和三年卒業明治三十二年陸軍省任職約十年に及んだ。腕豪である。当時陸軍の軍医局長は、体格もよく、揮舞する所は、東大が強く、その中で十年の長きにわたるその要職に就いた事は、如何に大塚氏が立派な人物であり、非常時日本に必要な人格者であったかを物語るものである。但し他人は、軍人全嫌いな時代が違つてはいないかと、感嘆せられるのである。

助講会主催 滝口氏(早大)講演開く

助講会主催の文化講演「加曾利もつたこと」は、誠に久しぶりで、大塚と石原時代文化は十一月十二日午後一時より、加曾利員講演会として人間としての中を駆けまわつた。当日は加曾利員のみならず、大学の各学部、また学外からも来賓者があり、滝口教授の講演に熱心に耳を傾けた。

北貝塚は直径百三米、南貝塚は長径百七十米あり、これは日本最大の規模といことが出来る。そののみならず、貝塚には上下二つの貝層が認められ、これが形成された年代を異にしている。下層の形成年代は現在より四千五百年以前のもと言われ、また一説には更に古いものとも考えられている。このように時代の流れについてもかなり特殊な性質を示すものと考へられている。

加曾利貝塚はまた、古代日本の遺物の宝庫である。土器、石器、磨製、打製、独鈷形各種年代のものが見られる。骨角器には鹿の角などが多く、当時こういった動物の住んでいたことが証明され、また数は少ないが、居たであろうと想像される。貝塚では美しい貝輪、土製品では土偶が見出されている。人骨は二十体程発見されているが、中には頭に重さがかせられたものもあり、ほとんどすべては伸屈葬であり、その頭足の方などから、当時の死者に対する考え方、迷信の有無などについても論議されている。

新会長挨拶



十一月十日記念講演で開かれた臨時総会に於て花岡新会長、谷川前会長を始め総会出席総員の推薦があり、諸般の事情から此重任を担うことになりました。それは、活気に満ちた有能なる役員諸君の熱情に期待をかけての安心感から決断された。一人は常に仕事を忘れず、是を厚徳となす」という教諭があるが此実力あ

同窓会々長の重任を担って

鈴木五郎

望であつた。それが矢張り我の由來するところを知る。私は大正十一年専門学校時代に、同窓会業績の一つである。私に大正十一年専門学校時代に、同窓会業績の一つである。私に大正十一年専門学校時代に、同窓会業績の一つである。

「大学と共に在る」の心構が大正十一年卒業後三輪徳寛教授の門下となり昭和十六年助教。同二十二年国立千葉病院改組に際し、同院に就任。昭和三十一年千葉大学教授を退官。写真は講演中の鈴木新会長

ハイセンスの創作品を取揃えて 皆様の御来店をお待ち致して居ります

紳士服とスポーツウエアの店

メンズショップ 大丸

千葉ショッピングセンター TEL (2) 1513番

◎『おのほな同窓会』の方には特に優遇いたします◎

フクダ 心電計

フクダ医療電機 千葉販売株式会社

千葉市亥鼻町301番地 電話(7)-1596

トランスジスター心電計 DR-1T WEIGHT 6.5kg

本社 フクダ医療電機株式会社 東京都台東区池ノ端七軒町7番地

(7頁より続く)

の仕事のためにがんばらなければならない。だから、一人の人間がどれだけの仕事をこなすか、我々非常に関心しているところだ。先生方を見て、彼は何に徹しているか、解らなければならぬ。非常に結構だと思えます。しかし、かたがは、そのバランスのとれないハ

千葉学派の確立

母校に誇りを

鈴木教授 わかりました。学生諸君からいって、教育がもっともやってもいい。その通りだと思えます。又、やる立場の僕らも教育がもっともやってもいい、というところにまた色々な問題があるけれども、教育される立場で、教育者だけであっていいかどうかが問題です。諸君がどう思うかが問題です。諸君が問題になる。ちやうど、きつ天野直樹さんが言ったように、東大の前へ行ったときに、感慨無量になったように、諸君が誇るべき千葉大学があるかどうか、そんなことをどうも思いません。教育がもっともやってもいい、口はよかったです。だから鉛筆は下した。食道外科をやった。これを征服したらダイアモンドをさした。さしたとさか言ってほら吹いたんだ。日本は最初に行った。酒屋先生と、京都大学の沢田先生。そして、そのお話を中山君、まあ、すうと僕もやっただけで、まあ中山君が一生懸命やっただけで、あれは世界にほら吹いていたら、確かにまじがいないらしい。(笑)千葉でね、どこへ行ってもほら吹けるのは中山君の食道外科だけだ。一般的に、こまい学問になってくれば、赤松さんの仕事加賀谷さんの仕事とか、色々あるんだけれども、そういうことで、昔から、ここが東京大学植民地といわれたことがあるんだ。なにしてても本学出身の人のこの大学を誇りたい、という事が、なかなか実現しなくてね。谷川君なんか骨折したん

か。学生、やはり教育を受ける立場とやら、勉強したい。学問に行ったらね、負けないようにやっばり随分やっばりしよ。それで今や、我々の中から助教授、教授という意見が出てきて、田村君なんか親方一生懸命に千葉学派の人のために努力したわけだ。今ね、病院の整形外科の記念講演会に出て思ったんだけど、そりゃやっばり、外科出身で整形外科というところまで、メスを持って、その整形外科に負けちゃいけないから。ほんとのオルトペディーはメスを持たないのがもともとだから、他の大学の手術なんか下手なんだ。メス持っても、ところが九州と同じようにメスを持ったオルトペディーなんだ。それ、外科のほうからはいくらでもできる。キネならキネで後藤先生と特別の人がいたよ。僕は千葉の諸君はほら吹いていい人間になって

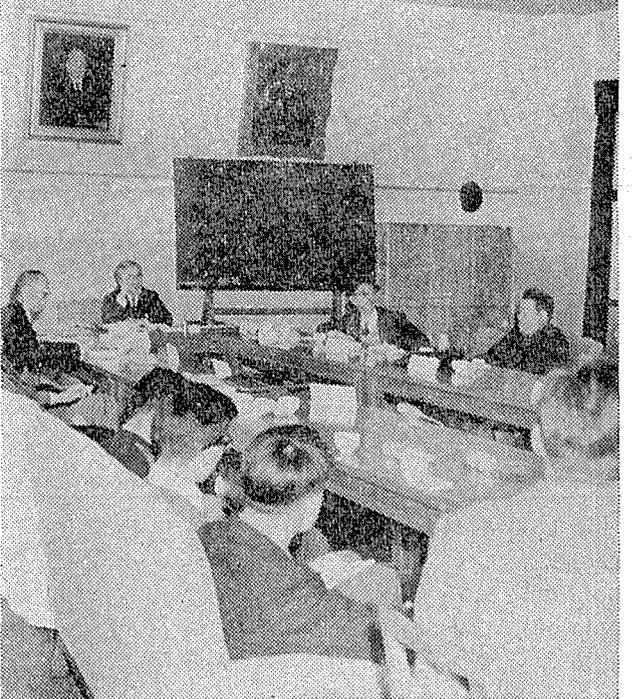


九十年の伝統の礎石 長尾 秋生両先生のレリーフ

尊い学問の犠牲も

行政領域へも

相模教授 とにかく先達の努力によって我々が千葉ユニバーシティーを曲るなりにも作ることができたというところですね。そして、それでいい気になっちゃいかん、ということのせいで、田村さんからもあつたわけ、千



右から田村利男、鈴木五郎、鈴木次郎、兼巻和一の各先生

は我々を乗りこえて学生諸君が作って行かなければならぬものだと思いますが、やはりその過程において多くの先生方が非常に立派な仕事を残して歴史を飾っておられるわけで、例えば馬形賢彦さんね、日本はほかの世界でも有名なものですね。馬形先生は若くして亡くなられて、ごうい、た場所には飾られないですが、ここに飾られている松本先生のお父さんや、千葉を作った先生方がずっと並んでいられるのは非常にいいですね。学生諸君はここに飾られてない立派な先生方がほかに沢山いらした事を忘れては欲しくないと思えます。そういう立派な仕事をなさった教授にも、どこかに銅像なり、なにかが出て、いつか我々が接することが出来るという様な事も必要だと思えます。実験のために感染して亡くなった方とかね、学問のために死んでいった人が何人かあります。そういう人達に対しても私は、やはり感謝の念を忘れなという事。そういうような事も非常に大事だと思えますね。

長井先生 いま、千葉学派ということ、まあ、学問の世界の話が出たんですけども、じつは我々のなまじりおられます行政畑ですね。ことに衛生行政ですね。この方面にもどんどん進出して欲しい訳です。行政というのにはなかなか日本では

これは増々大切になっていく事だ、ぜひ若い諸君のこの方面に入ってもらいたい、思っています。現在ことに残念なんです。千葉に大学がありながら、千葉の衛生行政を誰もやっていないんです。ひとつよひ、兼巻先生、まさにその通りです。千葉ユニバーシティーは、どうもやはり実地医学をめざす、よく、医療の時代にはその通りであります。どうも医療行政というところについて、理解が非常に少ない。この間ですね、柳沢利喜雄教授のところにまいりまして質問したんです。「どうですか、一体、衛生学、公衆衛生学という学問のうちの衛生学、どうもいじやない、どうもこれは非常にきびしい」というふうに先生は話されたんですが、今、長井先生のお話のよひ、どうも医療行政というところ、どうも力をいれたいという思いがありますね。

藤原先生 私もちょっと、さほど色々手防医学のこと、それから治療医学のことができてきたがね、私は一つ希望したいのは、予防医学も治療医学も大事ですが、どうして病気を治すの、その社会的な根本の社会医学的なものが影響しているの、はないか、なまじり、どうも病気がおこらなければならぬやっばりな環境なり状態なり、それから人たちの生活状態がどうなるのか、即ち社会医学的な部分を少し勉強して欲しいと思います。

鈴木教授 どうも有難うございます。ちやうど、小川先生が見えておられますが、何か今のような千葉大学、母校に關して文句を言うこと、或いは学生諸君に望むような事がありましたら小川先生、私は、今、山梨県の衛生研究所長をやっておりますけれども、むこうで一番感ずるところは、今少し、大学が、さきほどの鈴木先生のお話がありましたけれども、いいか悪いかはともかくとして、学問的なものを作った、千葉、千葉、山梨なら山梨県にある病院とか、そういうものを千葉でかためてもらいたい。千葉のみならず、群馬県なら群馬県で、どこでもよい。私、方々歩きまわしたけれども、やはり、そういうものに少し感ずるんじやないかと思えます。例えば、福島の事、その他かなり成功してやっております。最近では御承知のことと思いますが、日大あたりでもかなりやっております。それから千葉は、もう少し厳格になくて積極的にやってもいいと思えます。そういう橋頭堡みたいなものを作っていた方がいいと思えます。

鈴木教授 諸先生方も、さうとお話したかったです。ただ、時間が関係で、残念ながらこれで終わらなければなりません。要は我々が誇り高き大学にするように我々、例えば、私たちが頭である者も、しっかりしなかつたらん。それから、学生諸君も、しっかりしなかつたらん。この伝統ある歴史というものに、我々は大いなる誇りをもちあわす、また、ますます高い誇りをもち得る大学に我々があろう、というのが今日の御意見だったと思えます。どうか学生諸君も、さういふ心かけを持って、先輩方と共に、我々と共に励んで、りばな我々の大学を築きあげ、やがて我々の後輩に誇ることのできる大学にするようにがんばりたいと思えます。本日はどうも有難うございました。(拍手)

炎症と腫脹の抑制に!

抗炎・抗腫脹酵素剤

カイモラル

★本剤は、キモトリプシン・トリプシンを含有します。
★内服で確実に作用し、使用が簡単です。
★皮下・筋肉組織からの血液やリンパ液の吸収を高め、障害箇所の循環を改善し、炎症と腫脹を抑えます。

【用法・用量】 通常1日6錠、3〜4回服用。
【包装】 60錠、120錠、300錠、1,200錠

【健保適用】

東京田辺製薬株式会社
東京都中央区日本橋本町2-7

100,000 医人の週刊医学雑誌

週刊 日本医事新報

清新潑刺・充実無比

「学説」「学会印象記」「画報」「MEDICAL ESSAY」「時論」「ニュース」「一週一話」「私の考え方」「質疑応答」「閑窓夜話」「東銀座だより」「医事案内」その他。

日本医事新報社

東京都中央区(京橋局区内)銀座東2-11
TEL (541) 3344 (代表)・振替 25171 番

毎週土曜日発行
定価 50円
送料 100円
三ヶ月 1,500円
六ヶ月 2,800円
一年 5,000円
送料別
送料別
送料別

最も親切なる
臨床医家の好伴侶

